

「危機管理投資」が切り拓く国家主導の産業ルネサンス

日本政府重点戦略17分野と経済へのインパクト、および企業経営の羅針盤



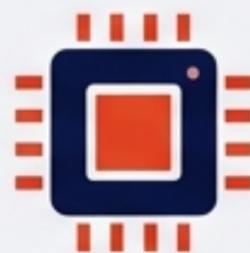
エグゼクティブ・サマリー: 市場原理主義からの脱却と「国家と企業の協奏」

The Shift

~~市場原理主義~~ → 「危機管理投資」

サプライサイド経済学 × 経済安全保障

The Scope



Deep Tech



Infrastructure



Security

The Mechanism

Govt
Commitment



Crowd-in Effect
(民間投資)

The Imperative



経営者は国家ロードマップ
とアラインせよ

「政策市場」への参入と
レジリエンスへの投資

パラダイムシフトの背景：複合的危機への回答

The Problem (複合危機)

地政学的分断

サプライチェーンの
脆弱性

少子高齢化

気候変動

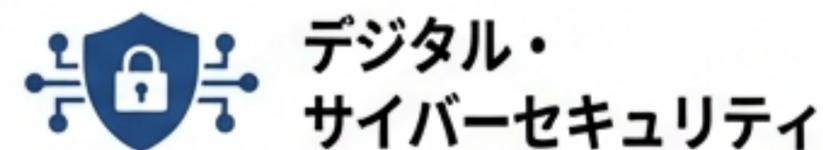
The Solution (国家主導)



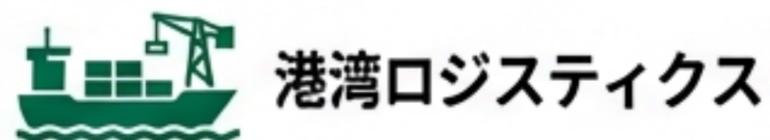
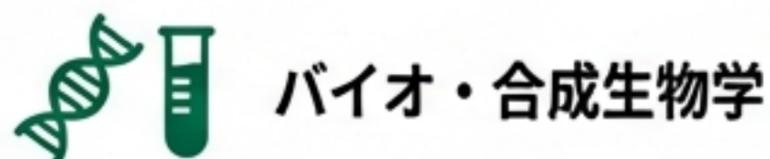
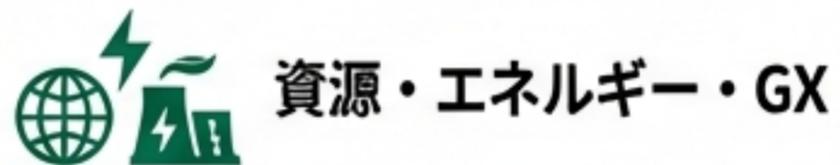
Goal: 短期的な需要喚起から、長期的な供給能力構築への転換

重点戦略17分野の全容：3つの戦略的支柱

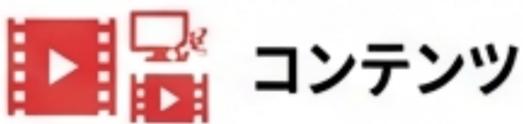
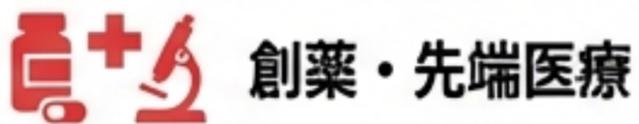
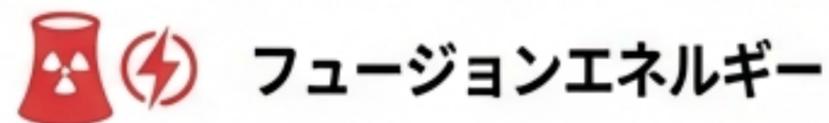
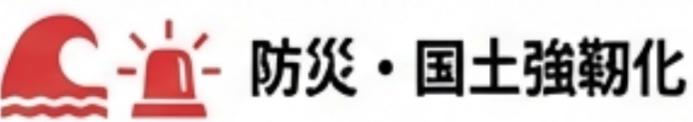
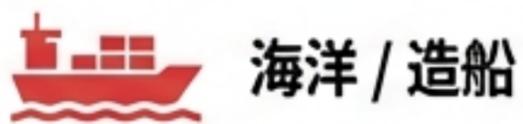
Digital & Deep Tech (頭脳)



Economic Security (強靱性)

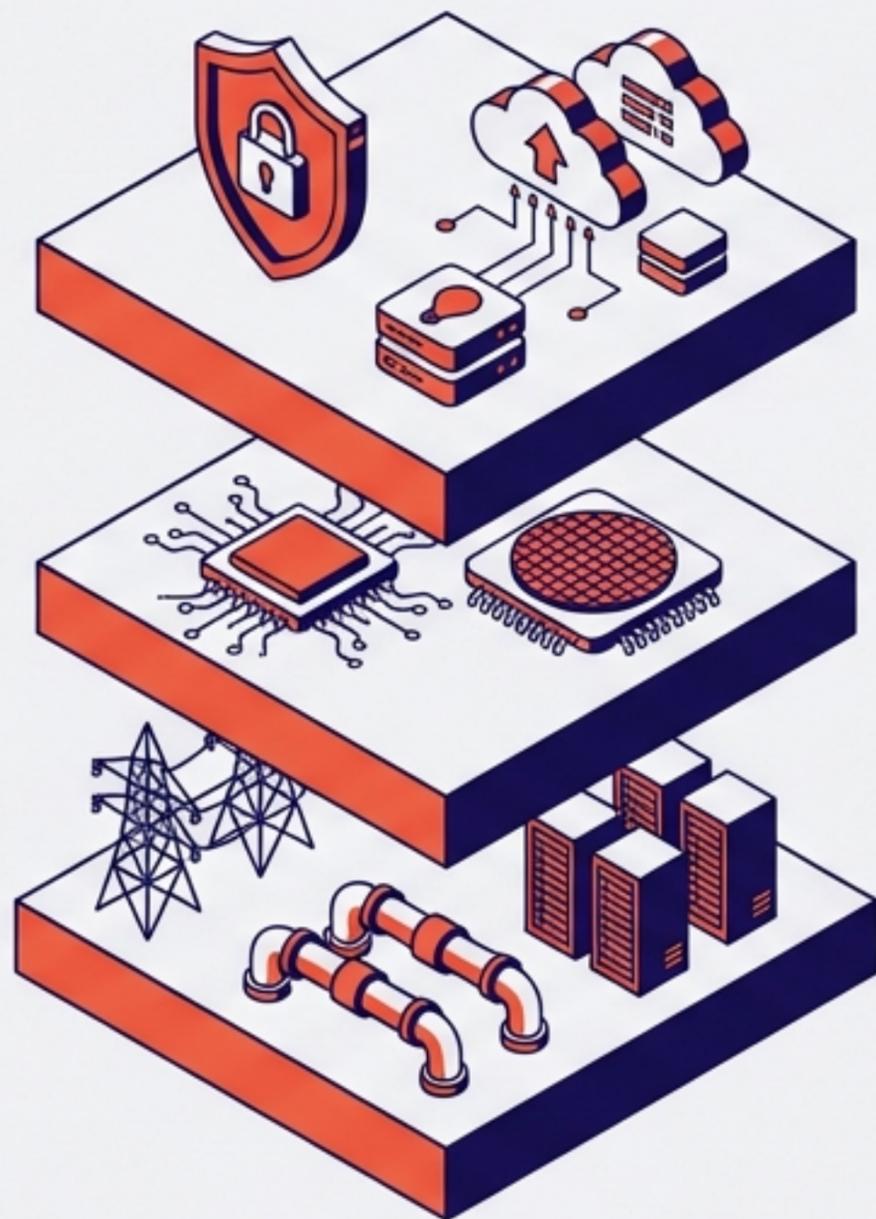


National Safety (守り)



※各分野は相互に連動し、エコシステムを形成する

Deep Dive I: イノベーションと技術覇権 (AI・量子・半導体)



Services/Defense

AI基本計画 / 量子ハブ / サイバー防御

Manufacturing

国内量産拠点・製造装置

Infrastructure

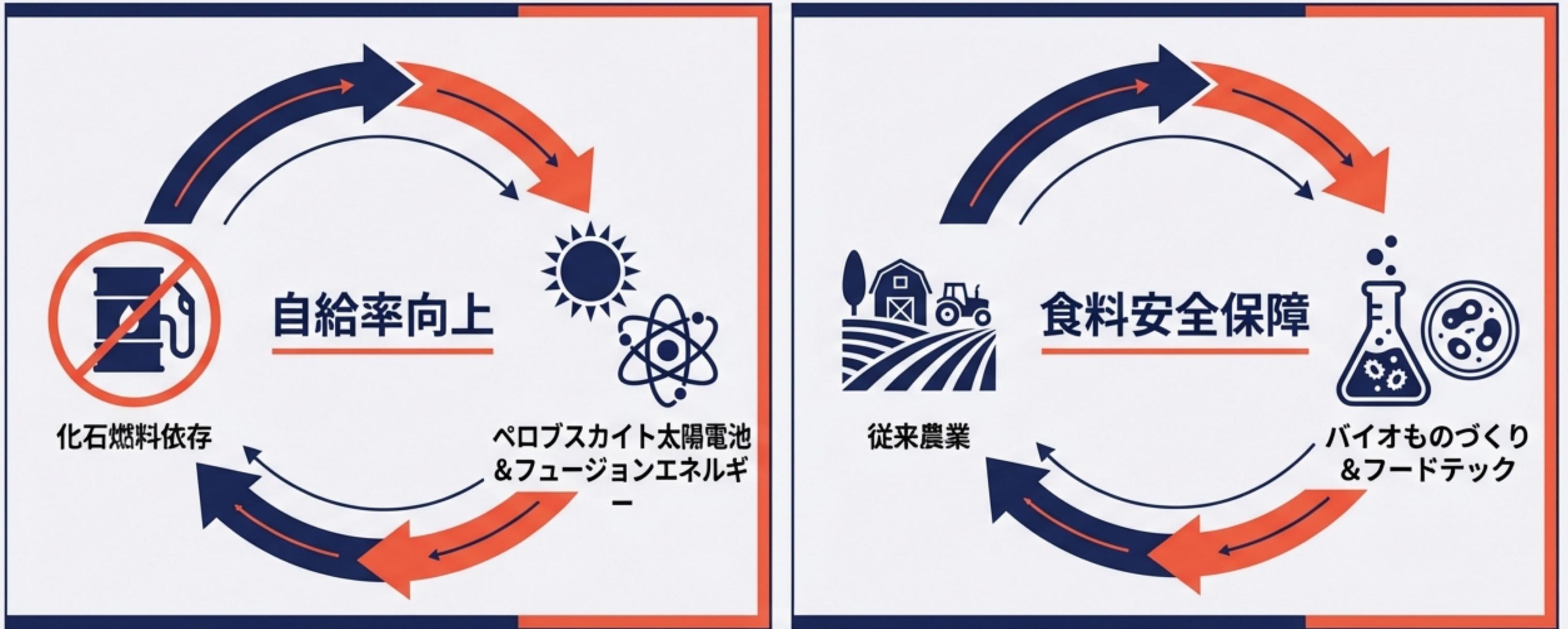
電力・工業用水・DC整備

AI・半導体：チップ製造だけでなく、電力・水を含むインフラ全体への政府支援。

量子：2030年代の実装へ。暗号・センシングの「量子イノベーション拠点」。

サイバー：偽情報対策と重要インフラ防御技術の開発。

Deep Dive II: サステナビリティと自律性 (エネルギー・バイオ)



Key Enabler: 国際標準化とルール形成への政府関与

Deep Dive III: 国家の物理的強靱化（インフラ・防衛）



マクロ経済メカニズム：「クラウドイン効果」の創出



デフレマインドの払拭：
シュンペーター的
イノベーション
× ケインズの需要

産業へのインパクト：成長の「スーパーサイクル」

半導体



素材から後工程まで
エコシステム全体の恩恵

建設・土木



「インフラテック」への
進化と国土強靱化需要

防衛・重工



収益基盤の安定と
輸出ポテンシャル

産業へのインパクト：構造転換と新市場



原材料の輸入

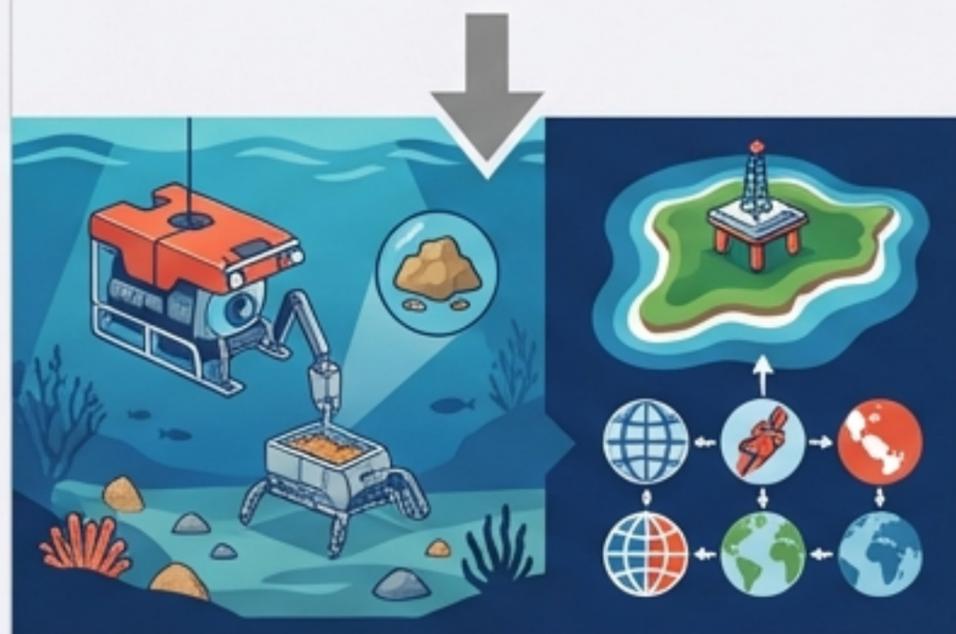


フードテック

(代替タンパク質のルール形成)



サプライチェーン依存



供給源多角化

(南鳥島レアアース・海洋開発)



労働集約型



強制的な自動化

(デジタル港湾)

リスクと課題：投資対効果の試金石



投資効率

旧来型産業（造船等）への分散投資と、中韓とのコスト競争。



プロジェクト・リスク

MRJ（国産旅客機）凍結の教訓。航空・宇宙開発のマネジメント能力。



財政規律

巨額支出と財政健全化のバランス。

社会と個人への波及：Quality of Life の進化



ガバメントAI:
待ち時間ゼロ、即時処理。



攻めの予防医療:
データヘルスによる健康寿命の延伸。



エシカル消費:
新食品（フードテック）の受容。



リスクリング:
成長分野への労働移動と賃金上昇。

経営者への提言 (1/2) : 国家戦略とのアライメント

「政策市場」への参入

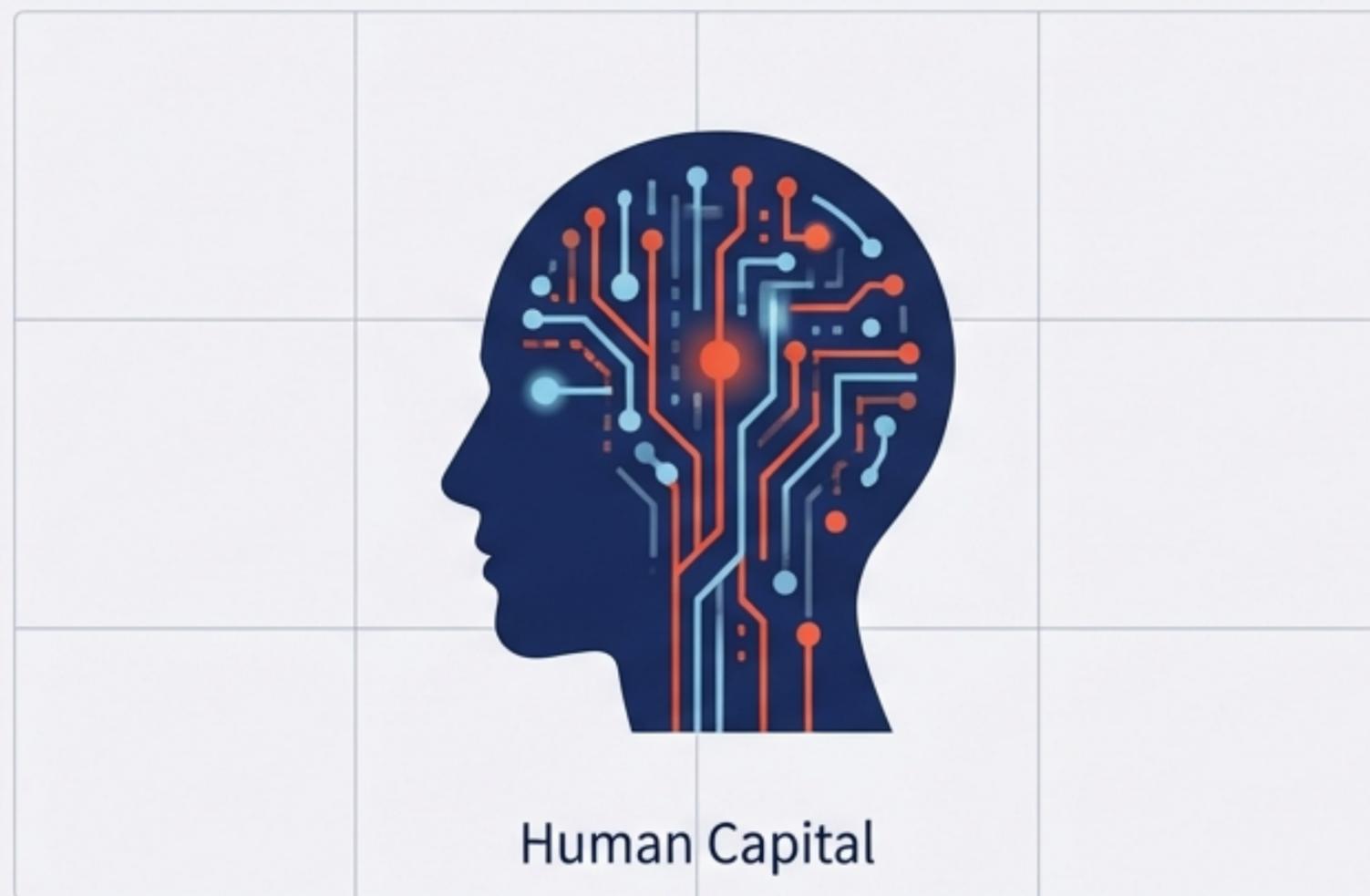
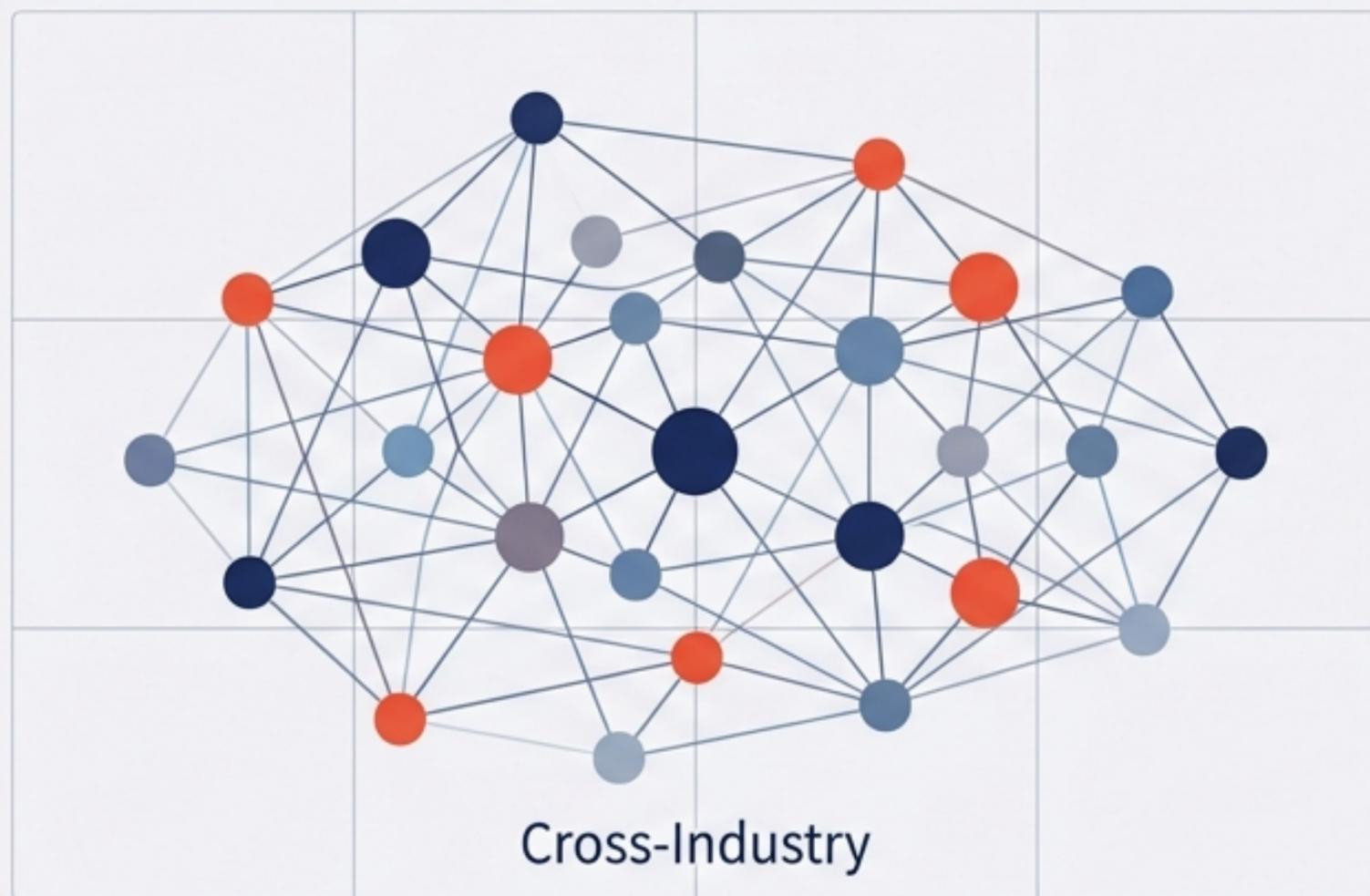
流れに逆らうな。政府調達 (B2G) や補助金対象となるR&D領域へリソースを集中せよ。

レジリエンスを価値に変える

「ジャスト・イン・タイム」から「強靱な供給網」へ。安全保障対応をコストではなく競争優位とする。



経営者への提言（2/2）：エコシステムと人的資本



異業種エコシステム

自前主義からの脱却。イノベーションは境界（AI×バイオ、宇宙×防災）で起きる。

CAIOの設置とリスクリング

最高AI責任者を任命し、従業員を成長分野へ適応させる。

結論：2050年から逆算する「戦略的協奏」

2050

重点戦略17分野は
「国家としての生存戦略」である。

バックキャストによる変革と、
国家インフラを活用したビジネスモデルの転換を。

国家と企業の戦略的協奏